

39期生 2012年キャリア教育講演会

12月19日（水）3限目に、39期生（1年生）対象のキャリア教育講演会を体育館で実施しました。

講師は廣嶋禎数（ひろしま よしかず）さん。長野高校の体育教師だった6年前、サッカーワールドカップ・ドイツ大会に日本人審判として選出され、三位決定戦で副審をされた方です（選手と同じ銅メダルが授与されたそうです）。当時は大阪府立高校の現役教諭だったこともあり、ニュースでも大きく取り上げられました。

講演は約50分間。ワールドカップでは、審判も厳しい競争に勝ち抜かねばならない、という話から始まり、審判だけの秘密のアイテムの説明へと続いていきました。

驚きだったのは、廣嶋さんのサッカー歴。こんなに著名な方なので、幼い頃からサッカーに没頭し、輝かしい選手キャリアをお持ちだろうと想像していたのですが、小・中学校時代は他のスポーツ（ソフトボール）をやっていて、サッカーを始めたのは高校から、とということでした。

また、実業団リーグの選手を目指して強豪大学に進んだにもかかわらず、入学後1年で事実上の戦力外通知を受け、大きな挫折を味わうことになったそうです。しかし、そこでくじけることなく、指導者か審判になろうと発想の転換をし、選手時代にも劣らない努力を積んで今日のポジションまでのぼりつめられたということです。



廣嶋さんの話は、サッカーだけにとどまらず、夢をかなえたいと考えているすべての人に対するエールでした。

最後に、学年からのお礼として、生徒会執行部の立石君が花束を贈ったということも申し添えておきます。